

青森県景気ウォッチャー調査

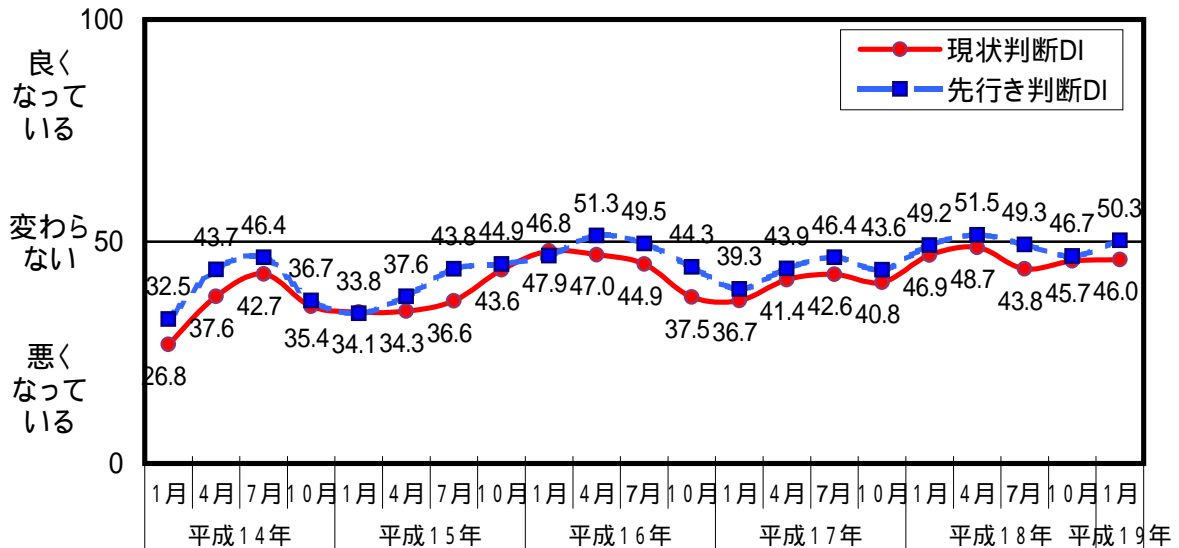
(平成19年1月期)

調査期間 平成19年1月4日～1月18日 回答率99%

概況

1月期は、景気の現状判断DI、先行き判断DIがともに上昇し、先行き判断DIは3期ぶりに横ばいを示す50を上回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成19年2月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9166(直通)又は017-722-1111(内線2188)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「悪くなっている」が4.1ポイント減少したことにより、全体では0.3ポイント増の46.0となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、一部で売上高の回復傾向から景気が上向いていると感じるとの声がある一方、暖冬少雪による冬物商戦の不振の影響をあげる声が多く見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、家計関連で1.1ポイント、雇用関連で3.6ポイント増加したが、企業関連については4.2ポイント減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、東青、下北地区においてポイントが増加したが、津軽、県南地区ではポイントが減少し、東青、津軽、県南の3地区において横ばいを示す50を下回っている。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「変わらない」が12.6ポイント増加したことにより、全体では3.6ポイント増の50.3となり、3期ぶりに横ばいを示す50を上回った。</p> <p>判断理由を見ると、初売りが好調だったことから景気回復の兆しが見えてきているという声や、新しいパソコンの基本ソフト(OS)発売等による需要に期待する声がある一方、景気が上向く材料が見当たらないため変わらないという声が多く見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、家計関連で3.4ポイント、企業関連で5.6ポイント増加した。雇用関連は前期と同ポイントとなった。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、東青、津軽、下北地区においてポイントが増加したが、県南地区においてはポイントが減少した。津軽地区53.3、県南地区50.8、下北地区55.0と、3地区において、横ばいを示す50を上回った。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=99

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	46.9	48.7	43.8	45.7	46.0
家計関連	46.8	47.6	41.3	44.2	45.3
小売	51.7	48.2	40.8	47.5	49.2
飲食	45.5	45.8	35.4	37.5	41.7
サービス	43.0	45.4	41.7	42.3	43.3
住宅	41.7	58.3	54.2	50.0	41.7
企業関連	47.2	54.2	50.0	54.2	50.0
雇用関連	46.4	46.4	53.6	39.3	42.9

回答別構成比(%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	21.9	23.5	9.0	14.3	13.1
変わらない	52.1	52.0	63.0	61.2	60.6
やや悪くなっている	17.7	20.4	22.0	17.3	23.2
悪くなっている	8.3	4.1	6.0	7.1	3.0

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=99

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	49.2	51.5	49.3	46.7	50.3
家計関連	47.5	50.7	48.7	47.3	50.7
小売	46.6	52.7	50.0	50.0	51.7
飲食	50.0	47.9	43.8	39.6	45.8
サービス	49.0	50.9	49.1	48.1	51.0
住宅	41.7	45.8	50.0	45.0	54.2
企業関連	55.6	56.9	52.8	47.2	52.8
雇用関連	50.0	46.4	46.4	39.3	39.3

回答別構成比(%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなる	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	20.8	29.6	19.0	17.3	17.2
変わらない	56.3	50.0	58.0	56.1	68.7
やや悪くなる	17.7	17.3	20.0	18.4	12.1
悪くなる	4.2	3.1	2.0	7.1	2.0

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=29

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	48.3	53.3	44.2	41.4	44.0
家計関連	48.9	52.2	42.4	42.0	45.5
小売	61.1	55.6	41.7	47.2	50.0
飲食	50.0	50.0	41.7	41.7	50.0
サービス	34.4	47.2	41.7	36.1	37.5
住宅	50.0	62.5	50.0	50.0	50.0
企業関連	56.3	62.5	50.0	43.8	43.8
雇用関連	33.3	50.0	50.0	33.3	33.3

回答別構成比(%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	31.0	33.3	10.0	10.3	10.3
変わらない	41.4	50.0	60.0	55.2	62.1
やや悪くなっている	17.2	13.3	26.7	24.1	20.7
悪くなっている	10.3	3.3	3.3	10.3	6.9

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	47.3	43.1	43.3	47.5	45.0
家計関連	47.5	42.9	40.9	47.7	44.3
小売	43.8	40.6	38.9	52.8	50.0
飲食	50.0	50.0	41.7	50.0	41.7
サービス	53.6	40.6	40.6	40.6	40.6
住宅	37.5	50.0	50.0	50.0	37.5
企業関連	45.8	45.8	45.8	50.0	45.8
雇用関連	50.0	37.5	62.5	37.5	50.0

回答別構成比(%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.7	10.3	6.7	10.0	10.0
変わらない	75.0	62.1	66.7	73.3	63.3
やや悪くなっている	7.1	17.2	20.0	13.3	23.3
悪くなっている	7.1	10.3	6.7	3.3	3.3

< 県南地区 >

D I

n=30

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	48.3	48.3	46.7	49.1	47.5
家計関連	48.8	46.3	44.0	45.0	45.2
小売	52.8	43.8	50.0	52.8	47.2
飲食	37.5	33.3	25.0	16.7	33.3
サービス	50.0	50.0	39.3	45.8	50.0
住宅	37.5	62.5	62.5	50.0	37.5
企業関連	42.9	53.6	53.6	60.7	53.6
雇用関連	62.5	50.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	24.1	24.1	13.3	20.7	20.0
変わらない	48.3	44.8	63.3	62.1	50.0
やや悪くなっている	24.1	31.0	20.0	10.3	30.0
悪くなっている	3.4	0.0	3.3	6.9	0.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	37.5	52.5	35.0	42.5	50.0
家計関連	36.1	50.0	33.3	38.9	47.2
小売	41.7	58.3	16.7	16.7	50.0
飲食	41.7	50.0	33.3	41.7	41.7
サービス	25.0	41.7	50.0	58.3	50.0
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	50.0	75.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	30.0	0.0	20.0	10.0
変わらない	30.0	50.0	60.0	40.0	80.0
やや悪くなっている	30.0	20.0	20.0	30.0	10.0
悪くなっている	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0

(2) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=29

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	51.7	53.3	50.8	40.5	44.8
家計関連	52.3	52.2	48.9	40.9	45.5
小売	58.3	55.6	55.6	47.2	52.8
飲食	66.7	58.3	41.7	41.7	41.7
サービス	40.6	47.2	47.2	33.3	37.5
住宅	50.0	50.0	37.5	50.0	50.0
企業関連	56.3	68.8	62.5	43.8	56.3
雇用関連	41.7	41.7	50.0	33.3	25.0

回答別構成比 (%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなる	3.4	0.0	3.3	0.0	0.0
やや良くなる	24.1	36.7	20.0	10.3	13.8
変わらない	51.7	43.3	56.7	51.7	58.6
やや悪くなる	17.2	16.7	16.7	27.6	20.7
悪くなる	3.4	3.3	3.3	10.3	6.9

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	47.3	49.1	46.7	45.0	53.3
家計関連	45.0	48.8	46.6	45.5	53.4
小売	40.6	46.9	41.7	44.4	52.8
飲食	50.0	41.7	58.3	41.7	50.0
サービス	50.0	53.1	46.9	50.0	56.3
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	50.0
企業関連	54.2	50.0	50.0	45.8	54.2
雇用関連	50.0	50.0	37.5	37.5	50.0

回答別構成比 (%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	14.3	24.1	16.7	16.7	16.7
変わらない	64.3	51.7	56.7	53.3	80.0
やや悪くなる	17.9	20.7	23.3	23.3	3.3
悪くなる	3.6	3.4	3.3	6.7	0.0

< 県南地区 >

D I

n=30

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	50.9	51.7	52.5	52.6	50.8
家計関連	47.5	51.3	53.6	53.8	51.2
小売	44.4	56.3	58.3	61.1	50.0
飲食	37.5	50.0	33.3	25.0	41.7
サービス	57.1	50.0	53.6	58.3	53.6
住宅	37.5	37.5	62.5	50.0	62.5
企業関連	57.1	53.6	50.0	50.0	50.0
雇用関連	62.5	50.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
やや良くなる	27.6	27.6	26.7	24.1	20.0
変わらない	51.7	51.7	56.7	58.6	63.3
やや悪くなる	17.2	20.7	16.7	6.9	16.7
悪くなる	3.4	0.0	0.0	6.9	0.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	42.5	52.5	42.5	52.5	55.0
家計関連	41.7	50.0	41.7	52.8	55.6
小売	33.3	50.0	33.3	41.7	50.0
飲食	41.7	41.7	41.7	50.0	50.0
サービス	50.0	58.3	50.0	66.7	66.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	30.0	0.0	20.0	20.0
変わらない	60.0	60.0	70.0	70.0	80.0
やや悪くなる	20.0	0.0	30.0	10.0	0.0
悪くなる	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0

4 . 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由		
やや良くなっている	家計	東青	百貨店	景気が上向きであることは、売上高の回復傾向からは感じる。しかし、回復傾向であるが前年を上回る実績は残せていない。		
			パチンコ	12月1月という年末年始での一時的かもしれないが、やや良い。		
		津軽	百貨店	12月は前年をキープ。特に服飾、ジャケットなどの婦人・紳士が好調。重衣料は暖冬によりやや苦戦。ギフトも好調。食品は郊外ショッピングセンターが開店したことにより一般食品は苦戦。しかし、贈答・銘店は好調。そして初売りは客数、売上とも好調。福袋は初日で完売。1月は婦人服、キャリア、ヤングともクリアランスは好調です。		
			一般小売店	第2四半期が前年比98.9%であったのが、第3四半期は102.3%に上昇している。		
			都市型ホテル	過去2年に比較して、1月の宴会入れ込み件数、人員、単価とも上昇傾向にある。レストラン部門も堅調だ。		
		県南	家電量販店	パソコン市場に変化。1月末に新しいIOSの発売もあり変化があると思われる。		
			一般小売店	先月公表された青森県の11月の有効求人倍率が全国最下位から45位になった。(最下位沖縄県、46位高知県)		
			観光名所等	売上が伸びました。雪が降らないので、出かけやすいのかもしれない。		
		変わらない	企業	東青	建設	景況は総じて上向きといえようが、建設業にあっては、官公需の減少が続き、民需は競争による収益低迷 - という構造的要因が大きく作用するから目立った変化はないと考えられるものの幾分は改善されよう。
					県南	経営コンサルタント
電気機械製造	人を募集しても、急に集めるのが難しくなった。他県からの募集も増えているとの業者の話があった。さらに、中京地区の取引先から、ついに東北地方への進出や工場増設の話が現実味をもって語られるようになっている。					
下北	食料品製造			消費者の買い物動向がここ数年に比べて良い方向に変わって来ている。		
変わらない	家計	東青	コンビニ	年末年始の人の動向をみてもサイフのひもはかなり厳しくしまっている気がしてならない。雪もなく、もう少し外出の機会も増えるかと期待したが、全くダメでした。		
			スーパー	年末はふるさとへの帰省があり、かなりの客数増があった。年明け後その反動があり、不在住民の存在の大きさを感じる。		

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	衣料専門店	消費者の買い物に対する厳しい姿勢は変わらないが、ミニ催事での売上の積み上げが効を得ている。
			一般飲食店	色々と努力してやっと現状維持。
			卸売業	マスコミ等では景気上向きと言われておりますが、流通業界では実感が無い。
			住宅建設販売	特に変化なく、お客様の動き、言動、消費に関して同じ。
			競輪場	12月のボーナス時期に期待していたが、ファンの財布のひもがかたく、期待はずれで、悪い状態が続いている。
			ガソリンスタンド	医療や年金等の問題が根本的に解決されない限り、家計は消費に向いていかない。
			商店街	12～1月の時期、暖冬少雪でファッション・身の回り品の冬物商戦がふるわなかった。年明けはバーゲンセール突入で利益率の低下は避けられず、2月は消費減退シーズンなので、総じて厳しい模様。
			設計事務所	メーカーのセールスの情報が好転していない。
			都市型ホテル	県内景気一部を除き足踏み状態が続いていることは周知の通り。ただ当社利用客に限り、年末宴会利用は前年同期よりやや上向いている。しかし景気が上向いているとは言えない。レストラン部門は前年よりやや下向いている状態である。
			スナック	悪いことにかわりないということです。昨年の12月に期待していましたが、一昨年の12月と比較して売上が落ちています。9月、10月、11月は全くだめでしたが、12月はそれでも良かったかなと思っています。
		レストラン	10、11月と比べたら12月はよかったと思うが、例えば1人当たりの客単価が去年と比べると下がっていると思う。それは青森市全体に言えることだと思う。1月初旬は雪も少なくお客様の出足はいいと思う。	
		津軽	パチンコ	繁忙期にもかかわらず、あまり集客につながらなかった。
			スーパー	近隣に競合店ができ、はじめは苦戦しましたが、今現在では、売上、客数も前年100%で遂行しています。
			衣料専門店	個人消費、温暖のため売れ行き不良。特にコート悪し。
			一般飲食店	収入の伸びが期待できないことや就職難等により支出を控える傾向がまだ続いているためと思われます。
			家電量販店	灯油価格の高騰、暖冬による石油暖房器の伸びが悪い。
			ガソリンスタンド	暖冬・少雪で、衣料、建設、石油関連の売上が伸び悩んでいる。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	商店街	日々の来街者数の状況、店の売上（推定）等からみて、前3ヶ月より状況が好転しているとの見方をすることはできない。
			設計事務所	建設業界は一向に上向いていない。行政でも建築業の他業種への変換を求めているような状態です。
		県南	衣料専門店	商店街も人通りが少なく活気が感じられません。
			美容院	マスコミで格差ということを色々なものに対して言われていることでの警戒感。来店回数が減っている。買い控えが目立つ。話題もその方向。
			スーパー	個人差がますます広がっている気がします（経済的余裕のある人となない人の個人差）。全体的には何も変化していないと考えます。
			一般飲食店	お客様の来店頻度が減りつつあるし客単価も下がりつつある。
			設計事務所	誰から聞いても景気が悪く、良くなり、変わらないと言う。
			百貨店	売上状況を比較するとトレンドは変わっていない。また客単価は上がっているものの、客数は3ヶ月前と同様に減少傾向にあるため。
			旅行代理店	日頃接している範囲内では、会社の業績がいいので社員旅行を実施したいというところはほとんどなく、むしろ、それどころではないという方が圧倒的に多い。
			観光型ホテル・旅館	都市から地方への景気回復がまだ及んでいない。
			タクシー	暖冬である。正月の帰省客が少ないように思う。
			卸売業	戦後最長の景気拡大持続とされているが、実感の乏しい景気回復であり、個人消費は伸びが鈍化している。年末商戦も暖冬傾向により冬物商材の動きがよくない。
		下北	スーパー	年始帰省客（？）の影響かアップが見られたが、全体にお客様1人あたりの単価、買い上げ点数ともに下がっている。
			レストラン	相変わらず不景気だねという声。年末年始の客の入りは良く売り上げもまずまずでしたが。
			一般小売店	お客様の買い控えの傾向は変わっていないと思われます。ただ、お歳暮の購入内容について変化が見られます。全国的な流れかもしれませんが、買上金額、個数は減っていますが、1個あたりの金額は高くなってきております。
			タクシー	冬場に入り、家庭・企業等とも燃料費の高騰の影響を受け、できるだけ出費を抑えていると思います。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	スナック	新年に入っても変わらず。
			ガソリンスタンド	お客様との会話の中で、「全然良くない」という声が多いため。
	企業	東青	広告・デザイン	求人募集広告が少ない。営業広告が増加しない。
			津軽	飲料品製造
		津軽	経営コンサルタント	法人の月次の所得が増加していない。
		津軽	広告・デザイン	冬期間に入り、発注・受注が減少する時期のため。
		津軽	食料品製造	いい話は全然聞こえてこない。現状維持。
		県南	紙・パルプ製造	昨年秋に打ち出した製品価格復元がようやく決着を見た一方で、原材料価格の上昇が続いているため。
			飲料品製造	さほど根拠のあった訳ではない年末年始への期待がお約束通り裏切られてしまい、心情的に落ち込んでいる。大手チェーン店は次の企画に期待をつなぐふりをしているが、地元はそうも行かないようです。
	雇用	東青	人材派遣	3ヶ月前に比べ、微増とはなっているが、スポット的要素濃く、状況としてはあまり変わっていない。
			求人情報誌	県内の景気及び雇用にあっては最悪である状態が続いている。
		津軽	人材派遣	地元企業からの求人賃金は相変わらず低めに推移。
			新聞社求人広告	好転の兆しが見あたらない。
		県南	人材派遣	景気がいいのか悪いのか？良くなっているとニュースでは聞くが実感としてない。
やや悪くなっている	家計	東青	観光名所等	お客様の入園数が減っている。
			家電量販店	冬物商戦に期待していたが、暖冬のため不振。
			美容院	低料金の店に行く人が想像以上に多くなっている。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	観光型ホテル・旅館	観光シーズン中は動きがあり良いと思いましたが、冬季になり、地元の宴会（忘新年会）を期待しましたが、去年以上に動きが悪いのではないのでしょうか。
		津軽	タクシー	暖冬少雪の影響で、需要の伸びが見られなかった。
			スナック	客足が少ない。
			卸売業	公共工事の減少により、受注量が減ったため。
			旅行代理店	リンゴ農家はやや良いと思うが、レジャー産業、大型ショッピングセンターを除いた他産業に元気のなさが感じられる。
			コンビニ	社会保障の削減による可処分所得の減少、生活不安等が会話の中でも散見される。
		県南	乗用車販売	富裕層のお客様も増えてはいるが、それ以外のお客様もそれ以上増えている。
			ガソリンスタンド	どの業界から聞いてもよくない。特に飲食関係、タクシー。
			商店街	収入減に家計費増とダブルパンチで購買意欲もわかず、景気は益々低迷している。
			コンビニ	年始を迎えガソリン等の高騰もあり車での来店が激減した。結果、客数、売り上げとも大幅に減少傾向。
			住宅建設販売	冬期間のため、受注、着工とも春待ちの状態。
			スナック	人通りも少なく店を閉じているのが多い。
		下北	一般飲食店	去年の今頃より売上が落ちているからです。
		企業	東青	食料品製造
	経営コンサルタント			建設業、漁業が良くない。少雪から冬物商戦が期待外れ。民間ボーナスの不振。
	津軽		電気機械製造	海外のメーカーに受注を取られているなど理由はいろいろありますが、全体的に受注は下がってきているから。
	県南		建設	公共工事の発注減及び民間工事の競争激化。
			食料品製造	商品の動きが悪い。消費者の買いがにぶっている。特に食品の動きが悪い気がする。

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	東青	タクシー	中央（大手）の景気右上がりは聞くが、労働者側に反映されず、消費に結びつかず、大から中、中から小企業そして労働者（消費者）に還元がみえない。さらに地方は遅れる。中央の退職者が海外でなく青森の観光へ継続しかつ大挙訪れるのを望む。
		津軽	観光型ホテル・旅館	忘新年会とも昨年と比較にならないほど減少し、また雪不足のためスキー客のキャンセルが多かった。
	雇用	東青	新聞社求人広告	昨春以来、新商品の開発などに注力してきたが、県外からの入りが減り続けて前年実績割れを起こしている。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	東青	百貨店	売上高の回復傾向が、ますます顕著になっていることから、今後数ヶ月は持続するものと推測しています。
			一般小売店	希望です。
		津軽	百貨店	初売り、福袋が好調により、景気回復の兆しが見えてきている。特にブランド福袋は長蛇の列。1月1日は1,200名程並ぶ。
			都市型ホテル	天候の回復とともに人の動きがよくなる。
			一般小売店	正月の出だし3日間が好調であったため。
		県南	家電量販店	パソコン新OS発売に加えて、地上デジタル放送が間近に控えている等。
			美容院	現政権の安定と、暖冬の気分的購買、春の早めの訪れに期待しているようです。
			一般小売店	昨年原油価格が高騰したときは最悪の冬になると思ったが、原油価格も一応安定の様子を見せ不安材料が少し減ったため。
			住宅建設販売	冬期間のため、受注、着工とも春待ちの状態。
		企業	下北	タクシー
	東青		建設	景況は総じて上向きといえようが、建設業にあっては、官公需の減少が続き、民需は競争による収益低迷 - という構造的要因が大きく作用するから目立った変化はないと考えられるものの幾分は改善されよう。
	津軽		経営コンサルタント	今現在は暖冬で、春が早く来ると経済が活性化するのではないが。
	変わらない	家計	東青	観光名所等
スーパー				好景気は業種、業態でみてまだら模様。やはり関東の大都市圏に集中している。
一般飲食店				何となく。
競輪場				ハローワークに若者が職探しで溢れていた。そのうち何人かは仕事につくのか？パチンコ店とハローワークが盛況？

先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	東青	住宅建設販売	具体的に良くなる要素がない(税制、国政など...)	
			商店街	県内の経済見通しでも、先行きは不透明であることから、好転の兆しは望めない。	
			スナック	全くわかりません。同業者、又いろいろな商売経営者の方からのお話を伺っておりますが、悲観しています。皆様真面目に悩み続けております。新町通りはシャッターがしまったままのお店が多いです。	
			都市型ホテル	やや期待感はあるが、県内景気の現況より上向く好材料はない(今のところはみられない)。	
			ガソリンスタンド	医療や年金等の問題が根本的に解決されない限り、家計は消費に向いていかない。	
			設計事務所	好転する材料が見あたらない。	
			卸売業	原油等の値上げから、メーカーから製品の値上げがでてきていますが、実際小売業の売価に転嫁できていない。	
			津軽	パチンコ	基本的ベースアップ等がなく、パート扱いの者も多いため、レジャーに使う費用も限られているようだ。
				タクシー	現状の動きを見ていると、特別変動する要因がみられない。
				衣料専門店	地域間格差。
	家電量販店	地上デジタル家電の主力である薄型テレビ、DVD等の年末年始の動きに期待したが、今ひとつ伸びなかった。			
	ガソリンスタンド	良くなりそうな要因が見あたらない。			
	商店街	私どもの商店街では、昨年末に郊外の大型ショッピングセンターが形成されたこと等、好転になる材料が見受けられないことから、似たような状況が続くものと思われる。			
	スナック	お客様の飲み歩く回数が少なくなっていると思う。			
	一般飲食店	今のままで行くと3ヶ月先まではあまり変わらないと思います。			
	観光型ホテル・旅館	大学受験の改革により受験生の宿泊がなくなったり、景気よくなる材料が見えない状況が続いている。			
	設計事務所	一部の職業、職種では上向きかもしれませんが、それもほんの一部で全体としては何もかわらない。			
	卸売業	今後も公共工事等の発注が見込めないため。			

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	旅行代理店	今が底のような感じを全般的に受ける。
		県南	衣料専門店	私のまわりでは景気の良い話は聞こえてきません。不安材料が多いためでしょうか。パートが増え、残業してもお金はいただけずサービス残業は当然と思っているようです。
			タクシー	働くところがない。これといった起爆剤になるようなものがない。
			観光名所等	正月が終わると、みんなサイフのひもを締めるので、売上は横ばい状態。
			設計事務所	公共投資がなければ変わらない。
			スーパー	業界、企業格差、個人差があると考えます。
			旅行代理店	中央の好況の波及効果も見られず、実感できないという経営者が多い。
			ガソリンスタンド	良くはなっていないが、さらに落ち込むとは思えず。
			一般飲食店	この冬期間は寒い要因もあるが、街の中の歩行者が少ない。お金の余裕ある話を聞いたことがほとんどない。
			観光型ホテル・旅館	都市からの地方への景気回復がまだ及んでいない。
			百貨店	大都市や大企業等で、業績向上の話は聞くが、八戸地域で景気の良い話はほとんど聞かない。市民の家計が良くなっているとは考えにくい。
		卸売業	暖冬傾向も心配であるが、格差問題も表面化してきており、特に地方が悪く、上向く傾向がなく、対策が望まれる。	
		下北	スーパー	変動要素がみあたらない。
			レストラン	石油、ガソリンの高騰、家計上は赤字、景気の良いのは大手企業だけだと思う。
			一般小売店	今よりさらに悪くなっている要因は見あたりませんが、良くなっていく要因も特にはないと思います。
			一般飲食店	先が見えないからです。
			スナック	良くなる要素なし。
			ガソリンスタンド	良くなる要素があると感じられないため。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	コンビニ	よい材料がない。
	企業	東青	食料品製造	今のところ積雪が少なく、このまま暖冬で終わるのであれば、高騰した灯油代の負担と相殺されるとの期待を込めて。
			広告・デザイン	会社(企業)が、売上がなかなか上がりず経費削減の方向で利益をあげようとしているため、景気が上がらないと思います。個人消費はますます悪くなると思います。
			経営コンサルタント	石油高止まりの影響がでてくる。少雪から除雪業者、スキー場関係者等の不振がでてくる。農業(リンゴ等)の好環境も全体を押し上げるほどではない。
		津軽	電気機械製造	景気が良くなる要因は特にはありませんが、今以上に悪くなる要因もないから。
			食料品製造	何かにつけて消費者の財布のひもが堅い。
			広告・デザイン	様々な原材料の高騰により、利益率の減少はしばらく続くのでは。
			飲料品製造	上向きになる要因が今現在見当たらないので。
		県南	電気機械製造	近所の取引先の話では良い業界と悪い業界に二分されているとのことですので、全体としては景気は変わらないと思います。
			飲料品製造	さらにまた急速に景気を落下させる材料はないと思います。
			紙・パルプ製造	原材料価格が上昇を続ける一方で、今冬から稼働した省エネ設備投資の効果等によりコストダウンを強化し、何とか採算悪化を食い止めたい。
		下北	食料品製造	冬の天候がこのままで行くと業種によって良し悪しが出てくると思われるため。
		雇用	東青	新聞社求人広告
	津軽			人材派遣
	新聞社求人広告		景気回復につながる材料がない。	
	県南		人材派遣	今の状態が長く続くと思う。
			新聞社求人広告	景気回復の実感がない。個人消費が伸びないのか、広告出稿においても、小売業、不動産関連の出稿が低調だ。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	コンビニ	これから期末をむかえ、確定申告、納税の時期になればもっと厳しい現実が待っているような気がします。
			レストラン	年末はそこそこ動いたが、毎年のように、1~2月末までは雪のため又は行事が3月までないため、静かだと思う。
			衣料専門店	1. 団塊の世代の大量退職により、ファッション頻度が低くなる。 2. 中心商店街の荒廃に歯止めがかからない（閉店が相次ぐ）。
			観光型ホテル・旅館	中京地区、首都圏に関しては上向きに推移しているのではと思われるが、地方の景気は決してよくなっていないと思うため。
			美容院	先行きの生活に不安をもっている人が多くなっている。
	県南	スナック	3ヶ月前と比べてよくない。飲食業は見当がつかない。	
		コンビニ	今後の見通しから見る限り、消費税、ガソリン、リストラ、就職率の問題と、TV・メディア等で見られるように、節約して車の買い替え（軽自動車）が多い中、お客様は衣・食の部分で大幅な節約をしているのではないか？と思われるため。	
		商店街	給与・賃金アップは期待できず。暖冬で冬物商品も動きなく売上低迷。この先新入学・進学を控え、何かと出費も増加。先行き暗い。	
	企業	県南	食料品製造	関東周辺が販売主体ですが、競争が激しいわりに荷動きも悪く、今後もよくなるような動きが見えない。今より悪くなるように思う。
雇用	東青	人材派遣	3ヶ月後の状況は、当社としては現状と変わりないと思う。しかし、全体的に見て、冬期間でもあり、建設業を中心に実質マイナス成長の本県では改善の見込み薄く、中央との格差は開くばかりである。	
悪くなっている	家計	東青	タクシー	賃上げが望まれず、日々の生活に関わる経費（年金保険料）等の支払増、消費税のアップなど先行き不安材料のみある。プラスマイナスしてマイナスの計算しかできない現状下にある。
	雇用	東青	求人情報誌	改善要素が見あたらない。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=99

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	33.3	34.2	32.0	32.9	31.1
家計関連	33.5	34.9	31.3	32.9	30.7
小売	36.2	42.0	32.5	39.2	34.2
飲食	36.4	29.2	29.2	27.1	29.2
サービス	29.0	32.4	31.5	26.9	27.9
住宅	33.3	25.0	29.2	40.0	29.2
企業関連	31.9	34.7	34.7	34.7	33.3
雇用関連	35.7	25.0	32.1	28.6	28.6

回答別構成比 (%)

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
良い	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
やや良い	11.5	10.2	5.0	3.1	7.1
どちらとも言えない	34.4	38.8	42.0	42.9	33.3
やや悪い	30.2	28.6	29.0	32.7	36.4
悪い	24.0	22.4	24.0	20.4	23.2

地区別 D I

	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月	平成19年 1月
合 計	33.3	34.2	32.0	32.9	31.1
東青	34.5	35.0	35.8	27.6	25.0
津軽	33.0	33.6	30.0	35.8	35.0
県南	36.2	34.5	33.3	37.1	33.3
下北	22.5	32.5	22.5	27.5	30.0

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	当店のすぐ近くに他チェーンではありますがコンビニがオープンし、かなり当店も厳しいです。共食いしているだけで、減少し続ける労働力人口の奪い合いも限界があります。経営者も企業も、もっと厳しい時代背景にあった判断をと考えます。
		百貨店	昨年とは異なり、12月初めに降雪があったにもかかわらず、その後の積雪がなく、冬物の出足が早く、かつ来客数も比較的多い。
		衣料専門店	暖冬の影響で防寒衣料の売れ行きは極端に悪い。青森市のコンパクトシティ構想の弱点が正月商戦に見られた。すなわち他都市との競合で明らかに顧客流出があった。
		家電量販店	ここ1、2年競合他社の出店が顕著。
		卸売業	高齢化、少子化の中で、人口は減少していますが、小売業の売場面積は増加しており益々競争激化。
		レストラン	よくみんなで話をしているのですが、中心地(新町通り)に活気がないのはなぜ?ということと、みんなはお金を使わないのではなく、やはり飲食をするためのアクセスが悪いのではないだろうかということ(飲むんだから当然車はおいていく、しかしタクシー代がもったいない、とか?)、いろいろ原因があるのでは。そこで、青森駅から東西、公立大のあたりまで路面電車のようなものがあればもっともっと中心地に来る機会もあるのでは?(例えばの話です)
		スナック	景気が本当に良くなるのでしょうか?何とかお願いしたい気持ちです。それなりにいろいろと考え、頑張っているのですがつらい毎日です。
		都市型ホテル	前年同時期と比較し、宴会部門が多少持ち直しの傾向にある。官公庁はやはり低迷しているが、一部企業で販売促進として積極的に利用している先も見受けられる。
		タクシー	燃料費が下がらず、売上は坂道をころげおちている。
		美容院	給料日後の来店客が多いが、最近は給料日前が多くなっていると思う。出費などを考えての行動だと感じる人が多い。
		住宅建設販売	住宅の消費は高額客層か低額客層に二極化している傾向にある(格差)。
	津軽		百貨店
一般小売店			弘前市中土手町の中心的ショッピングモールの再スタートや、下土手町への全国チェーンのヘアサロンの出店など、高額層を意識した店の出店が目立つ。商店街にとって良い傾向が見られる。

分野	地区	業種	自由意見
家計	津軽	商店街	マスコミ等では「いざなぎ景気超え」とか報じているが、依然として地方の状況は厳しいものがあり、大企業と中小企業との格差が増しているように思われる。地方財源確保に国はもっと配慮すべきである。
		観光型ホテル・旅館	雪不足のために、米・リンゴ等農作物に悪影響がでなければ良いと願っております。
		都市型ホテル	ビジネスホテルの建設ラッシュが続く。既存の宿泊施設は将来的に設備投資か廃業を迫られる。
		観光名所等	観光戦略や販売戦略は行政が主体。民活が見えない。
		旅行代理店	格差（消費、生産）がますます拡大していくのではないかと。
		美容院	とうとうこの業界にもM&Aの波がやってきた。二極化に拍車がかかりそうだ。
		ガソリンスタンド	弘前市西部に大型ショッピングセンターがオープンし、ますます中心街の空洞化に拍車をかけたように思える。人口が減少していく中、なぜこんなに郊外大型店舗が必要なのでしょう？
		設計事務所	統一選挙の年は上向きは期待できない。なぜなら議会等が動き出すのは年後半になってからだと思います。
	県南	百貨店	お客様の買い物動向について、お金を使うときは使うが、普段は切り詰めた生活をし、ムダ使いをしないような買い方をしているように感じる（良く言えばメリハリのあるお金の使い方をしている）。
		一般小売店	八戸市の中心街区には昨年末にかけ大手の居酒屋が3店ほど出店しているが、過当競争ではなく相乗効果による集客アップになってくれればと思っている。
		一般飲食店	やはり行政との相互協力が必要と思われる。
		レストラン	夜ディナーの部門に関しては、アルコールを売れないというのがあり、郊外レストランとしては厳しい現状である。
		スナック	都会の方は何だかすごく良いようですが、こちらは全く良くなる様子がありません。あまりにも格差がありすぎる。これも政治の大きな焦点だと思います。
		観光名所等	元旦に、子どもが福袋を5個も買いました。貯金すればいいのに…。でも使わないと景気がよくなるのかな？ パックやビニール袋が、値段は変わらないのですが、物が薄くなりました。服等も、安い店の服は生地が薄い気がします。今は、質よりも、値段で買い物をしているような気がします。
		タクシー	働く場所をつくってもらいたい。「キレイゴト」ばかり並べるより、20年後、30年後年寄り県と言われぬように、わかりやすい長期ビジョンが欲しい。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	美容院	八戸では商業地域にも飲食店（全国チェーン）が増え、買い物は郊外大型店に車が満杯です。冬物の買い控えが目立ったようです。
		ガソリンスタンド	年金受給者の話だと、年々可処分所得が減少している。
	下北	一般小売店	先日、当店にてセールを行いました。内容は年賀状の当り番号で割引というものでしたが、割引で買えるのですから高額商品が売れると思いがちですが、値下げされて安いものをさらに割引で買うお客様が多く見られました。それくらい景気が悪い状況だということでしょうか？
		一般飲食店	今年の5月でちょうど丸50年営業していますが、とても不安です。これを機会にジャンプの年にしたいと考えておりますが、いかがなものでしょうか？
		レストラン	残業手当廃止反対。
		タクシー	原発の第2期工事が始まり、かなりの業者が入ってきているようです。その波及効果に期待しています。
	企業	東青	食料品製造
津軽		食料品製造	城西地区に大手スーパーが開店し、テナントも30店舗以上あるという。商圈が移りつつあるのかも。
		電気機械製造	最近台湾の電気メーカーの躍進の話をよく聞くようになりました。
		建設	今のところ、去年に比べて雪が少なく作業ははかどると思います。ただし除雪業者は少し降ってくれたらいいと思っているのではないのでしょうか。正月のデパートやショッピングセンターは不景気知らずの様子でうらやましいです。
		経営コンサルタント	除雪費が減少すると資金繰りが大変な建設会社がでてくるのではないか。
		広告・デザイン	今年は昨年と比べ今のところ雪が少なく、作業効率は良いが、喜ぶほど仕事量はなし。
県南		食料品製造	増税が大衆に少しずつ理解されだし、消費がしまってきているように思う。政治不信が一段と進んできているように思う。
		飲料品製造	厚生年金受給者の会の偉い方に会いました。今年は老人達が金を使わないぞと宣言されました。
		紙・パルプ製造	暖冬で、会社としてはエネルギー費にプラス効果だが、知り合いののんにく農家の方が「1月半ばまで雪が積もらないのは初めてのことで、地表から茎が伸びているがよい品質のものを収穫できるか心配」と話していた。

分野	地区	業種	自由意見
企業	県南	電気機械製造	行政が中心となって、進出したい企業と縮小・撤退したい企業の橋渡しをやってもらえないか。クリスタルバレイ関係など新しい産業への強力なバックアップが今こそ必要。
		建設	景気の大きな流れは、当県において一部業界を除き、凋落傾向であり、毎回同じ質問なので、同じ回答になってしまう。質問内容の変更も考えたらどうでしょうか。
		経営コンサルタント	中央と地方、大企業と零細企業、強者と弱者の格差が大きくなってきている。
	下北	食料品製造	今年はスタートから身近な選挙の多い年、何卒景気の動向が左右されませんように。
雇用	東青	人材派遣	財源不足による厚生年金のパート適用拡大は、健康保険の見直しも必須となる。業界のみならず、パート本人も大幅減収となり、冷え切った景気がさらに後退することになる。
	津軽	新聞社求人広告	一部製造業で回復が伝えられるものの、大手スーパーなどの地方進出で地元商店に影響大。全般に中小企業・商店が疲弊した状態。